

令和6年度第2回 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会議事録

▽日 時 令和6年7月22日（月） 午前10時から午前10時30分まで

▽場 所 西府文化センター 講堂

▽出席委員 山本会長、松下副会長、齋藤委員、筒井委員、森委員、山口委員、水橋委員、油井委員

▽欠席委員 難波委員

▽出席職員 町井建築施設課長、本木建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当副主任、風間建築施設課公共施設マネジメント担当主査、奥建築施設課文化・スポーツ施設老朽化対策担当主査、武内建築施設課事務職員、小林建築施設課事務職員

▽傍 聴 者 なし

▽内 容

1 あいさつ

2 議題

①前回の振り返り

3 その他

【配布資料】

資料1 公共施設マネジメントの取組の全体像とモデル事業の概要について

資料2 関連計画について

資料3 地域対応施設圏域マップ

資料4 検討協議会スケジュール（案）について

会議録

(事務局)

皆様おはようございます。定刻となりましたので、「第2回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、本協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

まず、事務局より配付資料の確認をさせていただきます。

お手元の資料をご確認ください。

※配付資料の確認

資料の不足はございませんでしょうか。会の進行中、何かございましたら事務局までお声掛けください。

それでは、進行につきまして、会長、よろしくお願いいたします。

【次第1 あいさつ】

(会長)

それでは、第2回の公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を開催いたします。

始めに、本日の委員の出席状況について事務局から報告をお願いします。

(事務局)

本日の委員の皆様の出席状況につきまして、栗原委員は、選出団体である府中市図書館協議会の任期が終了したことにより、退任となります。次回以降、改めて委員を選出し、委嘱する予定でございますので、現在欠員となります。

出席委員の数が過半数に達していることから、本日の会議は有効に成立することをご報告いたします。

(会長)

次に、前回の協議会の議事録について事務局から報告をお願いします。

(事務局)

前回の協議会の議事録につきましては、修正点がございましたらご指摘くださいますようお願いいたします。

(会長)

前回の議事録について修正箇所などありましたらお願いします。

それでは無いようですので、続いて、本日の傍聴の申し出の状況について、事務局よりお願いします。

(事務局)

本日の協議会の傍聴ですが、広報やホームページで募集しましたところ、応募がありませんでした。

【次第2 前回の振り返りについて】

(会長)

それでは本日の議題に入らせていただきます。始めに、議題2の①前回の振り返りについて、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料について説明させていただきます。

※資料1～3について説明

(会長)

ありがとうございました。前回の振り返りについて説明がありましたが、ご質問やご意見はございますか。

(委員)

文化センター圏域の範囲を変えることは可能なのでしょうか。

(事務局)

変えることが全くできないということではありませんが、各文化センターから半径何キロメートルという形で圏域を設定しており、実状としては変更することは難しいと考えています。

(委員)

圏域を変更できないのであれば、隣接する圏域を含めて複合化することも考えられます。1つの圏域の中でだけでなく、隣接する圏域の施設の方が物理的に近いということもあります。そうした考え方はいかがでしょうか。

(事務局)

地域対応施設には、学校施設や文化センターのように様々な施設がありますが、それぞれに圏域があります。学校であれば小学校区、中学校区、文化センターには文化センター圏域

があり、それぞれエリアが分かれています。府中市の場合、小学校区、中学校区、文化センター圏域それらがすべて異なっています。当市としてどのように考えていくかという課題はありますが、圏域の重なる施設を中心に、圏域にずれがあったとしても複合化等を検討することはありえます。

(委員)

隣接する圏域での複合化の検討について、今回の協議会の報告書や答申に反映させても良いのでしょうか。

(事務局)

物理的な距離を見ていただき、最終的には圏域の課題も整理することになると考えています。

(委員)

個別施設の方針ということではなく、地域対応施設の全体の方針という理解で良いですか。

(事務局)

ご認識のとおりです。

(委員)

子どもの数が増えたことにより、過去に小学校の学区が変わったことがあり、学区が広がった地域とそうでない地域があります。それにより、小学校区にある文化センターと自宅の距離が離れてしまい、小学校区にある文化センターに行くには、学区の端から端まで行かないといけない状況も生じています。その場合、子どもの足で行かせるのは正直難しいです。隣の学区の文化センターに行く方が近いですが、在籍校では最寄りの文化センターのお知らせが来ない状況もあります。学区が変わっていることも加味して、市民全体に情報が届くように考えていただきたいです。施設の利用者数を増やしていくことも重要なことですので、隣接区の施設や市全体の施設の情報も入ってきて、府中市全体として複合化や利用率の向上にもなる方法を考えていただきたいです。

(会長)

重要な視点だと思います。やはり物理的に近い施設の方が市民にとって使いやすいので、今後検討していきたいと思います。

各委員の皆様は府中市に在住しており、府中市のことはよく理解していると思いますので、どうしたら府中市がもっと良くなるかを皆で考えていきたいと思います。

(会長)

他にご意見はありますか。

無いようですので、この後の視察で実際に施設を見ていただき、次回以降もご意見いただきたいと思います。

それでは、資料4について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

資料について説明させていただきます。

※資料4について説明

(会長)

ありがとうございました。資料4について説明がありましたが、ご質問やご意見はございますか。

(委員)

各施設の利用状況や類似用途を整理して欲しいです。

(事務局)

今回の協議会において、各施設の諸室毎の利用状況をグラフ化して、お示しする予定です。併せて、似通った機能を持つ施設や諸室についてもお示ししたいと思います。

(委員)

施設毎の距離が分かる資料も示して欲しいです。圏域の中での距離ではなくて、圏域外でも距離が近いということもあるので、そうした状況も整理して示していただきたいです。

(事務局)

承知しました。

(委員)

武蔵台文化センター圏域には、西原町地区も含んでいますが、隣接した地域には本宿小学校があります。新町文化センター圏域でも、武蔵台に一番近い人達をイベントに案内しており、行政全体で見れば圏域という線はありますが、そこを越えて活動しています。また、自主防災連絡会が昨年に復活して、11文化センター圏域毎に防災活動に取り組んでいますが、武蔵台の場合、国分寺市の西元町が間に入っており、連携して活動しています。府中市だけで言えば、西府文化センターがあり、本宿小学校あたりの人達は武蔵台文化センターが避難

所ではないですが、距離は近いです。西府文化センターに行くには非常に遠く、府中第五小学校が隣にありますが、そこに行くにも甲州街道を渡って行かないといけません。今回、圏域と施設の兼ね合いについては、うまく検討していけたらと思っています。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございました。本事業の範囲では、市を越えての検討は難しいと考えています。

(委員)

武蔵台の北西部に千春保育園があり、市内全域からバスで来ないといけない人達も来ています。待機児童の問題があった時は、市外の方は、自宅から近くても市が違うから入園できないというのがありました。昨今、待機児童が減ってきたので、市内の幼稚園、保育園は定員を下回っているのが現状です。それなのに、市外からは入園できないのはおかしいということで、検討してもらっているところです。本協議会でどうにかできる部分ではないと思いますが、生活の利便性や避難所の問題のように、生活に密着した部分を優先した考え方になって欲しいと思います。

(会長)

避難所や保育園も近くの施設が利用できれば良いというのはその通りです。しかし、市外を越えた取組が本協議会でできるかというのはありますので、そうした考えも念頭におくということになります。

(委員)

多摩総合医療センターは、広域基幹病院であり、多摩地域の医療を支える施設です。多摩総合医療センターは、府中市にあるため、府中市民はそこに避難、治療、トリージも受けることができます。国立市と国分寺市も近いですが、立川市の災害医療センターの管轄ということで、そちらに行ってくださいとなります。多摩総合医療センターからすれば来た人を拒むことはないが、設置者である東京都からすれば管轄違いとなり、時代が違ふと感じます。近年の夏の暑さは災害級であるということから考えれば、子どもが通う距離を重視していかないといけないと思います。

(会長)

そうした考えも念頭に考えていきたいと思っています。

(委員)

資料3に記載されている施設は、今まさにある施設ということだと思います。これ以外に、

新設、転用で今後考えられているものがあると思うのですが、それは本協議会の検討対象にならないのでしょうか。例えば、府中市が契約して借りた土地があって、そこに体育館を建て替えるというような話もあると思いますが、そうした話は、まだ現実的ではないため、掲載していないのですか。

(事務局)

今後、市の計画として確定するものであれば、検討対象にすることも可能ですが、現時点でそういった計画は把握しておりません。市として確定していないものは、協議会で検討できませんが、随時情報を提供しながら進めていきたいと思います。ただし、地域対応施設という視点でいえば、現時点では大きな動きはないと考えています。

(委員)

府中市の運転免許試験場は、府中市の施設ではないのですか。

(事務局)

住所としては府中市ですが、東京都の施設です。

(委員)

府中市の運転免許試験場がなくなるという話があります。野球場を2面作り、公園にするようですが、その話に、府中市はあまり関わっていないのですか。

(事務局)

当市の都市計画の部署では聞いているかもしれないが、その範囲の話だと思います。

(会長)

他にございますか。

それでは無いようですので、議題3のその他について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

次回、第3回の協議会の開催日程についてですが、9月中旬ごろを予定しておりますので、後日、調整の連絡をさせていただきます。

また、この後、施設見学を予定しておりますので、会が終わりましたら、行程等を説明させていただきます。

事務局からは以上でございます。

(会長)

それでは、委員の皆様、よろしくお願いいたします。全体を通して、何か質問はございますか。

それでは、無いようですので、これで第2回の協議会を終了いたします。ご議論いただきありがとうございました。

以上